

令和4年白老町議会全員協議会会議録

令和4年9月16日（金曜日）

開 会 午前11時48分

閉 会 午後 0時30分

○議事日程

1. 病院改築に向けた取組状況について
-

○会議に付した事件

1. 病院改築に向けた取組状況について
-

○出席議員（14名）

1番 久保一美君	2番 広地紀彰君
3番 佐藤雄大君	4番 貳又聖規君
5番 西田祐子君	6番 前田博之君
7番 森哲也君	8番 大淵紀夫君
9番 吉谷一孝君	10番 小西秀延君
11番 及川保君	12番 長谷川かおり君
13番 氏家裕治君	14番 松田謙吾君

○欠席議員（なし）

○説明のため出席した者の職氏名

副 町 長	古 俣 博 之 君
副 町 長	竹 田 敏 雄 君
政策推進課長	富 川 英 孝 君
病院事務長	村 上 弘 光 君
政策推進課主幹	温 井 雅 樹 君
病院事務次長	菊 池 人 氏 君

○職務のため出席した事務局職員

事 務 局 長	本 間 力 君
主 査	八木橋直紀君

◎開会の宣告

○議長（松田謙吾君） ただいまより全員協議会を開会いたします。

（午前11時48分）

○議長（松田謙吾君） 本日の全員協議会の案件は、病院改築に向けた取組状況についてであります。担当課から説明を行い不明な点の質疑を行った後、内容に対するご意見等がありましたら協議を行います。

それでは、病院改築に向けた取組状況について説明を求めます。

古俣副町長。

○副町長（古俣博之君） 大変お疲れのところお時間をいただきましてありがとうございます。本日の内容につきましては、病院改築における取組の中で基本設計が中心であります。担当から報告・説明がありますので、重複することもあるかと思えますけれども、まず私から何点かお話しさせていただきます。

まず、本年2月15日に基本設計の契約を締結した後、7月29日まで基本設計業務を実施してまいりました。基本設計においては要求水準書に基づき業務を進める中、JVからの技術提案をたたき台として、さらに医師や病院スタッフ、消防・防災担当などの意見も聴取しながら新病院のゾーニングや平面計画、防災計画等を作成したところであります。また基本設計と合わせて敷地測量等も実施し、それらの結果を踏まえて8月から実施設計に着手しているところでございます。

JVからの提案価格は26億4,990万円とされておりますが、現在懸念されている物価高騰や資材調達等への影響から依然として予断を許さない状況が続いているところでございます。そういうことを受けて今後においては、コンストラクションマネージャーである健康都市活動支援機構のお力をお借りしてコストコントロールを図りながら、実施設計の中でしっかりとした事業費の査定をしてまいりたいと考えております。

次に、別途実施したアスベスト調査の結果であります。既存病院に飛散性のあるアスベストが検出され、その対策費として今のところ約1億5,000万円の増額が見込まれております。また電波障害調査では新病院の陰地となるエリアにおいて10軒程度のテレビの難視聴が発生する結果となっております。その対策費として約700万円の増額が見込まれております。これらの対策費についてはJVから提案されている価格には含まれておりませんので、何とか年度内に事業費について改めて相談させていただきたいと考えております。

それでは、基本設計の概要と各種調査結果について担当より説明させますので、よろしくお願いたします。なお、10月より医師住宅等の解体工事を始める予定でございます。

○議長（松田謙吾君） 富川政策推進課長。

○政策推進課長（富川英孝君） それでは、私から資料1、その後、温井主幹から資料2に基づいて説明をさせていただきます。

それでは資料1、白老町立国民健康保険病院改築事業基本設計概要版について説明をさせていただきます。2枚めくっていただきまして、1ページ、基本方針でございます。基本方針につきましては、白老町立国民健康保険病院改築基本計画に基づいて、患者さんに信頼され笑顔と思いやりのある病院づくりといった理念に基づいて、6つの施設整備の基本的な考え方をもちながら整備を進めていくということでございます。立面での外観イメージは下部のとおりとなっておりますので御覧いただければと思います。

続いて、2ページ目になります。計画敷地概要でございます。左上の図面の赤い波線に囲まれている部分が今回の事業区域になってございます。昨年の7月に津波の浸水区域が出されております。そういった中で現病院がどこにあるのかということで右下の配置図になっておりますので、御確認をいただければと思います。3メートルから4メートルの津波があるであろうという状況に対してということになってございます。

続いて、3ページになります。新病院の概要です。これまで説明しているところがありますので、簡単にかいつまんで説明させていただきます。まず、病棟については40床、介護医療院について19床、診療科目については内科、整形外科、小児科になってございます。建物の概要になりますが、ここでは建築面積が2551.91平米なのですが、1階をピロティ化したことによりまして、延床面積については当初予定の4,300平米よりも非常にカウント上は大きくなってございます。延床面積につきましては、6951.35平米ということで地上4階建、高さについては16.2メートル程度を予定してございます。右側の階層計画の考え方ということで、1階部分がピロティ、エントランス、それから2階が外来、3階が入院病棟、4階については機械室並びに避難場所という構成となっております。

続いて4ページになります。配置計画です。外構の配置計画につきまして、5月27日に開催していただきました全員協議会から少し変更がありますので説明させていただきます。北側のメインの出入口は変わらないのですが、元々の計画ではサブの出入口まで真っ直ぐ平行に進む予定となっておりました。これを2階にスロープ、デッキをつくっていることに合わせまして、スロープ部分を少しでも緩やかにすることを考え、東側のスロープ部分を少し北側にふっついているという形になってございます。メインの出入口から少し北側に上がりながらスロープに向かっていくという動線、これが1つ変更になってございます。それから、外来用の駐車場ですが元々は121台ということでこの中に配置していたのですが、「要求水準書にも職員駐車場と合わせて160台程度となっておりまして、職員用駐車場については南側に92台ということも含め、また今回改めて補助事業として対応するためには、より厳密に駐車場の数というものが必要になってきておりまして、そこから算定して適正な台数として67台程度ということで、少し少なくしております。それと、真ん中を東西に走る形で元気号等のバスの専用車道を設けております。これは提案時から変わってきているところで、東西に2か所それぞれ一般用と巡回バスの動線出入口が配置される計画になってございます。それと外構では病院の建物の左側にモバイルクリニック及び火災時等を想定して消防用活動スペースを追加しております。

続いて5ページになります。各階の平面計画になってございますが、1階部分については中

心の機械室、外来エレベーターホールの外枠を黒く太く囲んでいることが確認できるかと思うのですが、これが津波に対応した水密区画、壁が非常に厚いということで、この中は防潮扉というものにするによって津波のときにもこの中は水からは守られるという構造になってございます。それと、この中でいいますと身障者用の駐車場については4台から変更はできなかつたのですが、元々福祉タクシー等の駐車場として5台想定していたものを東側に1台追加させていただいて、身障者あるいは少し体が不自由な方の協力していただく駐車場を1台増やしたということになってございます。右側の外来の2階部分については大きな変更はございません。北側が患者さんの動線、南側に職員動線という形に配置してございます。6ページ、平面計画の続きで3階、4階、こちらも大きく変わってございません。3階の入院病棟については一般の4床室が7室、1床室が12室になってございます。また、介護医療院については4床室が4部屋、1床室が3部屋になってございます。4階については、機械室、電気室、備品物品庫になってございます。7ページは立面になっておりますので、割愛させていただきます。

続いて8ページになります。津波のラインと1階のピロティの関係性を御確認いただければと思っております。概ね4メートルの津波のラインに対して、2階以上の部分はしっかり守られる、1階エントランスデッキの下に車路と車寄せがあるのですが、ピロティの天井高さは基本的に3.4メートルになっておりますが、車寄せの部分については巡回バスが通るということで20センチメートル高く、ここだけは3.6メートルの高さとしているところであります。

9ページになります。防災計画ということで、インフラの途絶時の利用、あるいはライフラインの確保に対する考え方になってございます。基本的には全ての項目3日間分ということを考えてございまして、非常用発電機、燃料、雑用水、汚水というものをそれぞれ3日間対応できることで考えております。また、コンセント、照明、空調等については、医療活動が行われる部分には原則として災害時にも活用できるということでの対応を考えております。続いて10ページになります。防災計画の続きということで、左上1階部分については先ほども申しましたが、赤い波線のところが水密区画ということで、津波時にあってもこの中は守られることになってございます。また、2階、3階、4階につきましては、2階のエントランスデッキ、3階のリハビリテラス、それと屋上避難テラスにそれぞれ310人、110人、1,100人、都合1,520人が避難できると考えてございます。

続いて11ページ、工程表になります。先ほど副町長からもございましたが、7月までに基本設計を終えてございまして、現在は実施設計に入っていると。年度内に実施設計を終えまして、来年4月から本體工事に着工、そして来年度中に事業完了を予定してございまして、令和6年5月開院の目標に向けて取組を進めてございます。病院建物が建ち終わった後には解体・外構工事ということで、概ね令和7年9月頃までの事業として考えてございます。

最後になります。外観のイメージ、正面あるいは上空からの俯瞰図ということで、それぞれ津波から避難されているというものも含めたものになっておりますが、現在のところ白を基調とした外観で、こういった配置で進めてまいりたいと考えております。

足早ではありましたが、私からは基本設計の概要版について説明をさせていただきました。

○議長（松田謙吾君） 温井政策推進課主幹。

○政策推進課主幹（温井雅樹君） 私から（2）、各種調査結果について報告させていただきます。資料2を御覧ください。1ページ目のアスベスト調査の結果でございます。この調査ですが、既存病院と医師住宅10棟に対してアスベスト含有建材の有無を確認するものでありまして、本年2月から4月にかけて調査を実施いたしました。調査結果でございますが、資料にも書かれているのですけれども、既存病院の外装材では外壁吹付タイルの下地と屋外アスファルト防水にアスベストが含まれており、内装材につきましては階段やエレベーターホール、リネン室などの床材、壁材、天井材にアスベストが含まれておりました。医師住宅におきましては、外壁サイディングと複数の号棟・部屋で用いられる内装材にアスベストが含まれておりました。一番下の解体時の対応でございますが、既存病院の外壁タイルの下地は飛散性の高い材料であるため、防護対策を施した除去作業が必要となることから、解体費とは別に1億5,000万円程度の費用が発生することになります。一方、それ以外のものにつきましては非飛散性の材料であるため、既存の解体費の中で対応することができるので除去に伴う増額はございません。

続いて、2ページ目を御覧ください。電波障害調査の概要でございます。この調査ですが、テレビジョン放送電波受信障害防止対策に関する指導要綱に基づき実施する調査でございます。本年7月5日に現地調査を行いました。調査結果でございますが、地上高が16.2メートルの新病院の影響を受けまして、東町2丁目から概ね日の出町5丁目の広範囲において、受信するアンテナの向きが新病院の陰地になる場合に受信障害が発生するという結果となりました。しかし、本町は苫小牧局と室蘭局の2方向から電波を受信できるため、電波障害が発生する建物においてはアンテナの向きを調整することで難視聴の解消が可能となり、その対策費として700万円程度の費用が見込まれます。私からは以上となります。

○議長（松田謙吾君） ただいま説明がありました。特に確認しておく必要のある方はどうぞ。

西田祐子議員。

○5番（西田祐子君） 資料1の外來の方々が通院する場合のことを考えたのです。私もし通院するのならどうしようかと考えたのです。町立病院の中を見ますと、70代くらいの方が90代の方を連れて行くということが結構見られまして、そうなってきたときに2階のエントランスまで車を運んで、そこで降ろすというよりは1階の駐車場のところに降ろして、車椅子に乗せてエレベーターで行くほうが便利だし、私自身も通院するとしたら絶対に2階まで階段を上らないで1階のエレベーターを使うだろうと思ったときに、1階のエレベーター付近はバスも出入りするし、非常に混雑するのではないかと予想されるのです。車椅子などを必要とされる方もいるでしょうし、バスに乗り降りする方々、特に乗るのに待っている人たちもいます。このスペースで大丈夫なのか。そこだけです。冬の寒いときなどは特にそうなのですけれども、外で待つということになると非常にかわいそうかと思えますし、その辺は実際にはきちんと余裕があるのか。これで見たらどうしても風除室というのが狭いです。人が出入りするには十分だけれども、人が待機したり車椅子を置いたりというスペースを考えると狭いように思うのですけれども、十分なのか。その辺だけ伺わせてください。

○議長（松田謙吾君） 富川政策推進課長。

○政策推進課長（富川英孝君） まず、エントランスの活用の考え方になります。議員がおっしゃったとおり、2階はどなたか運転や付き添いの方がいらっしゃる状況でご利用いただくことが想定されると思います。1階については同様に付き添いも当然ありますけれども、高齢の方とかがエレベーターで行っていただくということが想定できるかと思います。そういった中で、風除室の関係ですけれども、基本的にはこの中でお待ちいただけると想定しておりますし、例えば10人、20人という方がここでお待ちになるということであれば少し狭いということもあろうかと思いますが、数人の皆様にお待ちいただくということであれば、車椅子とかそういったほかの部分を含めても一定程度、余裕のあるスペースではないかと考えて、こういった設計にしていると思っております。

○議長（松田謙吾君） 西田祐子議員。

○5番（西田祐子君） 2階に送迎する人がいて、そして2階で降ろしてとおっしゃいましたけれども、現実的に2階に誰かを乗せて行って降ろして、その車を1階まで行って駐車して、また階段を上ってきて、実際に車で送り迎えをしないといけない人というのは、基本的に面倒を見ないといけないのです。ほとんどの場合、ただ連れて行って病院の入口で降ろして、時間になったら迎えに来るからという人はほとんどいないと思うのです。お子さんだったり、高齢の方だったり、足などが不自由だったりとか、そうすると急いで階段を上って行って、2階に行って面倒を見るのかということになります。そうやってきたときに本当に不便なのです。申し訳ないですけれども、私はこの病院に親をどう連れて行ったらいいとか、小さい赤ちゃんがいるお母さん方は車から荷物を降ろして、待合室に一人でおいて、車を1階まで降ろして、また階段を走って上って来てと考えると、非常に時間もかかるし、そういうことを考えるとどうしても1階のエレベーターを利用する頻度が増えてしまうのではないかと私は思ったものですから、もう少し利用する患者さんのことを検討していただければありがたいと思いました。

○議長（松田謙吾君） 富川政策推進課長。

○政策推進課長（富川英孝君） いろいろな運用をお願いをしなければならない部分も病院の中にはあろうかと思いますが。議員がおっしゃった、できるだけ利便性を高めるというのは我々も念頭において、JVさんとも協議をしながら進めてきたところであります。こういった中では、2階部分に少し車も滞留できるスペースということになっておりますので、混雑状況にもよりますけれども、降ろして受付をしていただいてということもできないことはない状況かと思っておりますし、また1階部分の身障者専用の駐車場としては4台ということになっておりますが、それぞれの思いやり駐車場という言い方になってございますけれども、あまり入口から離れることなく車をとめていただいて、病院を利用していただけるようにということで、これも当初の予定よりは1台しかスペース上は増やすことはできなかったのですが、1台増やして何とか対応できないかという考えの中で設計をしてきたということでございます。病院の運営の部分については、安全性の部分も含めて、引き続き、実際の運用を考えてまいりたいと検討しておりますので、今後も引き続き実施設計含めて検討を進めていきたいと思っております。

○議長（松田謙吾君） 古侯副町長。

○副町長（古侯博之君） 1階の部分を今御心配されていることは、今のところ十分に一般車両やバス寄せの部分もある程度、余裕を持って設計をしているし、入口に入る前のところも屋根もつけて、それなりに防寒という対策も含めております。思いやり駐車場の件もあるし、いずれにしる今の病院が駐車場にとめて、外を歩いて来るよりはかなり患者さんも風に当たらないことになるし、連れて来る方についても思いやり駐車場を利用することで今よりは少し便利にはなっています。今後、今言ったところも含めて、その待機の部分がどれだけ広げていけるのか、その辺のところは実施設計の中で考えさせてもらいますけれども、今よりは少しでも便利にならないといけないとは思いますが、そのような配慮はしていきたいと思っています。

○議長（松田謙吾君） 前田博之議員。

○6番（前田博之君） 内容云々ではなくて、防災計画の中で提案をしたいと思っています。政策判断になると思うし、実施設計もう始まったということも念頭においてお話ししたいと思います。私ばかりではなくて、会派としてもこういうことがいいのではないかという部分でも整理されているし、私が言えば議員さんの中にもそうだと思う方もいらっしゃると思うのですが、二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする、ゼロカーボンの実現が入ってきて、先般、町長も声を上げてやりたいという話をしたのですけれども。私は町立病院をまちの公共施設としての先駆的なモデル施設にすべきではないかと思っています。町立病院を再生可能エネルギーの設備として、太陽光パネルを設置し、太陽光パネルで発電した電気を平時、施設内で消費する。事業費もあると思うけれども、補助金もいろいろあると思うのです。もし間に合うのであれば、せつかくこれからできる施設だし、だんだん物が見えてくると町民の方々からもそういう意見が出てくると思います。2日か3日しか保たない防災計画の充電の中で、もし間に合うのであれば政治判断としてぜひ太陽光パネルの設置を考えてはどうかと思うのですが、実施設計が始まったのは分かりますけれども、まだ期間があるみたいですが、できないのであればできないで含みを持たせなくてははっきり言ってもらっていいのです。議員の中にもそういう方がいらっしゃると思います。せつかくこれからできるのだし、一步進んだ先駆的な施設にした方がいいかと、町民もそういう部分がかかり当たり前の時代になっていますので、その辺はどうかと思ひまして提案として申し上げておきます。

○議長（松田謙吾君） 富川政策推進課長。

○政策推進課長（富川英孝君） ただいまのご質問ですけれども、昨今のゼロカーボン、カーボンニュートラルというものに対する考え方、我々も基本設計の中で検討してまいりました。結論から言いますと、今回事業として太陽光パネルは設置しないということになっております。理由といたしましては、補助の活用も含めてですが、屋上に太陽光パネルを置けないだろうかという話も議論の中ではさせていただいたのですが、防災面での避難場所の確保ということが現状この病院の中では少し優先される部分がございます、ここで書いている1,520人というものが補助の採択の中で非常に大きなウェイトを占めてくるということで、そこを少なくすることは補助の部分でいいますとなかなか難しいということで、この事業では実現不可能

という判断に内部協議の中ではなくてはなっております。太陽光パネルの部分、新病院が果たす役割については非常に大きい、町としてもゼロカーボン、カーボンニュートラル、地球温暖化への対応ということは進めていかなければいけない。その象徴的な施設として、まずはこの病院改築ということを引き続き考えてまいりたいとは思っておりますので、我々が直接工事ですといった太陽光パネルを設置するという以外にも民間の活力を生かした中で太陽光パネルの導入、あるいは電力の購入が考えられるということがございますので、この事業と並行してそういったことの導入が可能かどうかということ的现状では考えておりますので、少しでも議員がおっしゃった趣旨の内容に沿った建物になる取組は継続して進めてまいりたいと考えております。

○議長（松田謙吾君） 前田博之議員。

○6番（前田博之君） 課長が言った部分は、立地適性化計画の補助金の絡みと避難者確保を1,520人にしないといけないという補助金の縛りがあるからできないということでしょうか。

○議長（松田謙吾君） 富川政策推進課長。

○政策推進課長（富川英孝君） 現状、補助を獲得するに当たって協議をさせていただいている中では、避難者の部分をクリアしていくというのは非常に大きなポイントになっています。

○議長（松田謙吾君） 前田博之議員。

○6番（前田博之君） 防災計画上の地域の避難対象者の部分で救えるのが1,500人だよという施設ではなくて、立地適性化計画で1,520人にしなさいとっているからですか。補助金のために1,520人になっているのですか。

○議長（松田謙吾君） 富川政策推進課長。

○政策推進課長（富川英孝君） 補助金のためということではございませんが、ここに対象者1,600人程度いらっしゃいます。鉄南地区で概ねこの病院を拠点にして避難をすると考えたときに、1,500人という数字は一定の目標ということでこの計画の中で位置づけて進めているということがございます。

○議長（松田謙吾君） 古俣副町長。

○副町長（古俣博之君） 数字的な補助との関係だけではなくて、やはり太陽光パネルについては基本設計の中でも様々な観点で考えて事業者ともやりとりをしたのですけれども。例えば上に太陽光パネルを入れるとすると、災害のときの人数がどうしても減ってしまうということもあるし、病院自体の工事費の問題もあります。敷地の中で何とか平面的な部分も活用しながらできないのかということについても検討はしているのですけれども、太陽光パネルのために病院のどこで敷地の活用ができるか。見栄えも含めてどうなのだろうということも確かにあります。さらに議員からあったゼロカーボンに向けて、新しい施設ですから一つの象徴的な部分でその辺のところは十分に考慮した中で我々も何らかの形で貢献できる、そういうシステムづくりはこれからも考えていきたいと思っております。

○議長（松田謙吾君） 広地紀彰議員。

○2番（広地紀彰君） 1点だけです。3階にはリハビリテラスということで、リハビリをされている方たちが屋外でも体を動かしたりできる機能的な部分になっているのは分かるのです

けれども、4階にも階段でつながっていると思うのです。せつかくですから、まちの中心部に新しい4階建の建物が立つということで、4階の屋上行きテラスの活用というのは何か考えられないのかと感じたものですから。

○議長（松田謙吾君） 富川政策推進課長。

○政策推進課長（富川英孝君） 現状では、地域の皆様をまずは新病院で避難させるというところに主眼をおいておりますので、屋上避難テラスについては、先ほどの太陽光パネルの話もそうなのですが、まずはその面積を確保するということが非常に大きなポイントになっておりました。リハビリテラスを自由にというのはできないのですけれども、例えばリハビリの関係でもしかすると3階のリハビリテラスだけではなくということがあるのかもしれませんが、一般的に考えられるのは、防災訓練のときに皆さんに実際に上っていただくということはどうできるかと思えます。申し訳ございませんが、現状ではイベントとか町民に解放するということは、なかなか性質上できないと思えますので、趣旨に沿った目的に活用できることについては、引き続き考えていくことが必要かと思っています。

○議長（松田謙吾君） 長谷川かおり議員。

○12番（長谷川かおり君） 12番、長谷川です。先ほど同僚議員からも駐車場から玄関のエントランスまでの動線について提案がありましたけれども、私ももう一度、例えば1ページの平面図を見ますと駐車場から2階までの動線というのは階段で上がって行くか、長いスロープを使っての車の移動になりますので、駐車場から階段の部分をスロープか何かをつくる新たな提案などをしていただけると、例えば屋外の駐車場にとめた場合でも車椅子で移動することが可能ですので、1階のエレベーター部分が混雑して使えないとか、小さいお子さんをベビーカーに乗せて外で回ってスロープから2階に到達できる、また介護事業所、高齢者介護課、健康福祉課、若いお母様方の意見を、そういうところももう一度聴取しながら、ここを見直していただけたらと思ひ発言させていただきました。そこのお考えは今後どうなのかお聞きしたいです。

○議長（松田謙吾君） 富川政策推進課長。

○政策推進課長（富川英孝君） 屋外からの2階等への移動に関して、こういった階段動線がございまして、スロープの関係については我々も議論はさせていただきました。車椅子の方ということになると基本的に割合でいうと20対1、5%程度の勾配ということになりまして、4メートル上げるためには80メートル以上の距離が必要になってくるということも踏まえて、この敷地内で入れる、入れないの議論はさせていただいたのですが、現状ではなかなか難しいというのが実態でございまして、その議論については実施設計の中でも再度俎上に載せることはできるかとは思っているのですが、なかなか4メートルという高さを上げるための距離とか、ここはいろいろ考えなければいけないと思ひますが、そういったことを引き続き念頭に置きながら、計画づくりをしてまいりたいと思ひます。

○議長（松田謙吾君） 貳又聖規議員。

○4番（貳又聖規君） 4番、貳又です。この計画はいろいろプロジェクトチームをつくりながら進められております。病院の関係者も役場の各セクションの方々も入っているのです。で

きてしまったから町民の皆さんに利用勝手が悪いものだったということは防がなければならぬのです。今の議論を聞いていると、町民の高齢者の皆様ですとか、子育て中のお母様たちの声をどれだけ反映しているかという、応えきれていないのです。ですから、それは役場の担当者がいるこのプロジェクトに病院の関係者もいるといっても、その声は受け手側の声しかないのです。利用者の声をしっかりと聞いて、魂の入ったものをしっかりとつくっていただきたいと思います。これだけの議論をする中で、納得いかない答弁でありますから、その部分はしっかりとやっていただきたいと思います。

○議長（松田謙吾君） 古侯副町長。

○副町長（古侯博之君） これまでも、様々な機会が全部が全部を聞き取っているというわけではないのですけれども、高齢者とか子育て中の方も含めて声聞きはやってきているつもりです。さらに実施設計の中で、今言った観点からどうできるのか、いろいろな土地の問題だとかお金の問題だとか場所の問題だとかそのようなこともあるので、皆さんに本当に 100%納得していただけるようにつくっていきたいと思っていますけれども。いずれにしろ今出た声は十分に聞きとめて今後の実施設計に反映させていきたいと思っています。

○議長（松田謙吾君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松田謙吾君） 質疑なしと認めます。

これをもって今日のところの病院改築に向けた取組状況についての協議を終了いたします。

◎閉会の宣告

○議長（松田謙吾君） 以上をもって、全員協議会を閉会いたします。

（午後 0時30分）